

事務事業事後評価シート[平成28年度事業]

1. 基本情報

■事業の担当課	商工部商業観光課		■担当係	観光物産係
■評価事業名称	いわてウインターリゾート協議会負担金			
■事業開始年度				
■評価事業コード	060200 - 358		■会計区分	一般会計
■総合計画での位置づけ	■政策	03 ひと・技・資源を組合せ活気うまれるまちづくり		
	■基本施策	02 活気ある商工業と観光の振興		
	■施策	04 地域資源を活かした観光の振興		
■事業の類型	06 負担金・補助金(任意・ソフト事業)		■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの			
■法令等の名称				
■関連計画の名称				
■事業の目的と概要	県内のスキー場や関係市町村、交通会社等で構成され、観光宣伝、販売活動の共同化により岩手県のスキー場への誘客を図る。当該協議会への負担金。			

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	平成28年度事業計画	平成28年度事業量実績
01 いわてウインターリゾート協議会負担金	県内を訪れる観光客及び観光事業者	スキー場、市町村や観光事業者等で組織する協議会への会費□総会1回	スキー場、市町村や観光事業者等で組織する協議会への会費□総会1回・パンフレット作成・キャンペーン実施	

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	備考
直接事業費	201	200	201	201	
人件費	76		74	75	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	277	200	275	276	

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	25年度	26年度	27年度	28年度	指標の説明
01 総会			1回	1回	1回	

事務事業事後評価シート[平成28年度事業]

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

達成状況の分析		問題点・課題等
■目標達成状況	<p>A. 順調 B. 概ね順調 C. 遅れている</p>	県内の関係団体が連携し、効果的な広告宣伝事業を行い、新たな需要の掘り起しに貢献出来ている。 国内スキー人口の減少の中、新規誘客としてインバウンド対策が急務となっている。
1. 直接的な受益者の範囲	<p>不特定多数に及ぶ 特定されるが多数に及ぶ 特定少数に限定される</p>	<p>大きな不利益やリスクが生じる ある程度の不利益やリスクが生じる 不利益やリスクは小さい</p>
2. 事業廃止の影響		3. 国・県・民間との競合関係の有無
4. 事業へのニーズの変化	<p>ニーズが高まっている ニーズは変わらない ニーズが低下している又は合致しない</p>	<p>類似の事業はない 類似の事業はあるが競合はない 類似の事業があり競合する</p>
5. 施策の改善需要度(市民意識調査)	<p>順位が高い 順位が中程度 順位が低い</p>	6. 施策の優先度(市民意識調査)
7. 他市町村に比較しての優位性	<p>先進的またはユニークな事業である 他と同程度の事業である 遅れている事業である</p>	9. 経済性・効率性の向上
8. 実施主体の代替性	<p>民間委託等の拡充は難しい 民間委託等の拡充が十分に可能 全部委託や実施主体の移行が可能</p>	■今後の方向性
■事業の見直し方策(評価項目2,4の補足説明含む) 共通戦略を設け効果的な広告宣伝の実施。		<p>I. 拡充 IV. 廃止・休止 II. 継続 V. 完了 III. 縮小</p>